

■ 通巻第9号



冊子名 薬-ひこばえ-第5号

テーマ アルコール

発行日 2016（平成28）年1月4日

筆者名 霧谷 のあ、篠崎蓮、野生のペット、ゆうや、古都旅人、  
青井海、杏里

頁数/発行部数/サイズ 76頁/30部/A5版

主な内容 三行詩・文芸詩・俳句・短歌・感想文・散文（エッセイ・小説）・反省文

印刷所 ちょ古っ都製本工房

装丁 オフセット本

（表紙・ミラーコート紙フルカラー印刷、本文紙・書籍用紙70kg、前遊び紙・藤）

販売価格 150円

備考 表紙紙質発注違い（×マットコート紙135kg→○マットポスト紙220kg）

本文紙質変更（上質70kgから書籍用紙70kgへ）

新規会員として古都旅人、青井海さんが参加。（初回無料）

レイアウトについて

●表紙の紙質を発注違い

・今年→マットコート紙135kg・今年→マットポスト紙220kg

☆マットポスト→厚みもあって良かった。次回からマットポスト220kg

●本文用紙について

・今年→書籍用紙75kg・去年→上質紙75kg

☆書籍用紙→気づかなかった。違和感なく読めたしこれで良いのでは？（さきがけも書籍用紙で良いのでは？）（古都・蓮）。書籍用紙の方が小説が読みやすい（上質紙の方が違和感がある）。書籍用紙を使う場合は、表2・表3の印刷は無い方がいい（杏里）。高級感、文庫本読んでる感じ。大人感でふざけた内容でも良いのでは？（ゆうや）社会人独特の雰囲気が良い。（のあ）⇒さきがけ5号も書籍用紙で挑戦。

●表紙画像について

・元画像が綺麗に反映されてない。（赤が黒ずんでしまった）

・暗めの画像は選ばない方がいいかもしれない。

→元画像34Mbが入稿時130kbになっている。（過剰圧縮・いつもなら5.5Mぐらい）

→今後は入稿前にpdfデータを一度出力して考える。

●その他

・表紙に作家名→別にいらぬ

・表紙にテーマでかくいるか？→配置と配色が面倒なのでナシで。（文字色を赤か青に変更してもいいかも）※テーマの目立ち方

●巻頭詩の配置

目次前が良い（表紙裏は白で悪い意味で目立ってしまう）。

※奥付は裏表紙裏が良い（杏里・古都・はしの）

作品について

●巻頭詩

「記憶探し」口に出して読むといい感じ。生き急いでるイメージが出てしまった。「どこかで遊んではいないだろうか」はそんなにネガティブな単語かどうか（蓮）。

→次回も精査する。

●三行詩

・篠崎蓮「雪国の罨」が面白かった。（古都）

・霧谷のあ「料理酒」に笑った。（古都）

●文芸詩

・古都旅人「海を想い、砂の中へ」が最初読みたくなかったけど、読むと独特の世界観が良かった。沈み込んで浮き上がっている視点の動きが最初と同じ位置にいながらも印象が変わって良かった。（蓮）

・野生のペットの作品が全体的に元気がなくて心配になった。（蓮）（杏里）

・野生のペット「さまようなら2」のタイトルが気になった（蓮）。「さまようなら1」が非公開冊子の作品だから、特別意味がない限りはタイトル変更した方が良かったかも（ゆうや）。

・野生のペット「夢」が何があったんだよと思って面白かった。（古都）

・篠崎蓮「なんだかんだ言って」がなにか良かった。特に最後3行。（青井海）

・篠崎さんがはじけてる（杏里）

●俳句

・ゆうや「一本の～」が季語なし

・杏里「夜更けに～」が良かった（はしの）

●短歌

・ゆうや「下戸だけど～」がエッセイとリンクして面白かった（古都）

・篠崎さんのカタカナ短歌が衝撃だった（杏里）

●缶詰

・古都旅人「横渡し電信柱から」のチョイスが面白い（蓮）。ギャグ小説として面白かった（古都）。

・橘花音「恋慕」のチョイスが渋い（蓮）。

●エッセイ

・ゆうや「下戸と愉快的仲間たち」→下戸でも飲める銘柄があることに驚いた。（青井海）

●小説

・「過ぎ去った時は戻らず」「イマダキタラズ」の連作が良かった。（蓮）

⇒イマダキタラズの男性の書き方が真に迫って良かった。時間軸が分かりやすくて良かった。

⇒連作という、今まで見たことないタイプの作品で楽しめた。

⇒半角英数字は要検討（実際紙になってみると不自然に感じた）

・「イマダキタラズ」を読んで泣いた（青井海）

・新規二人の新しい風が入ってる感がしてよい。新鮮さがある。お洒落（杏里）

・イマダキタラズ、お洒落。具体的なものの使い方が効果的（携帯・年号など）。響く言葉がところどころにあるのが良い。最後は文章に読まされる感じが面白かった、畳み掛けてくる。（はしの）

その他

●自由作品と課題作品について

篠崎蓮の「未来告白 建前編」「未来告白 本音編」「雪国の罨」「水流」「今日今ここで」「幻の憧れ」は自由作品（自由作と課題作の確認は行っていたが、今後はもっと念入りに行う）

●奥付の誤植

「長濱香苗」の「濱」は「濱」の間違い。

●コピー&ペーストするとルビが（）に置換される不具合。

⇒ペーストの際に「テキストのみ保持」にすると起きる。（誤植チェック体制を強化）

●巻頭詩の最後に（「○○」より）という書き方をすることについて。今まで抜粋だったのでその書き方にしていたけど、今後変更してもいいかも。